平成7年(1995) 3月16日

られ、京都新聞社を通じ 約八十万円の寄付が寄せ

支援はこれからも宗教部

学校・協力会か

続され、春休みなどにもま

で、その避難所に野菜、 のは西宮の大社中の避難所

両日に行われた。

層強めることが大切で

に合わせて二月一、

スコンロなどを中心に支援

の義援金を各家庭で募るこ

とになった。

庫県内のカトリックの私学 なども行われた。また、兵

あたられた、事務の船川さ

直接運ばれ、その輸送役に

また、支援物資は現地に

しかし、このような活動は はまだまだ時間がかかる。

今回の震災の立ち直りに

回で終わらずに地道に息

んにも話を伺った。

今回、支援物資を運んだ

にもお見舞いをしたそうで

その結果、生徒会では

徒に寄付を募り、学校から 事になった。

生徒会では生 定され、まず義援金を募る

生徒の手で直接輸送された。

くとのことである。

神戸などで炊き出し

中学生徒会と学校などで決

援助活動を行う事が高校、 震災に対して、わが校でも

はわが校で被災された方へ

38期生267人 世の礎たらん 新たな航海へ



りすると共に被災された

なられた方のご冥福をお祈 をもたらした。まずは亡く 方を襲った地震は兵庫県南

月十七日早朝、近畿地

ら募った本校の関係者への

義援金は百五十八万八百十

ティアとして働いている学 なり、関西学院でボラン

行われる

内の避難所に支援物資を届

生の要請で関西学院の敷地

けたとのことである。

阪神大震災起る

られず、半壊などの被害に どの被害にあわれた方はお かったそうで、家が全壊な

あわれた方が十世帯、その

支援物資が行き届くように

物資を届けた。三回目から 高生徒会の会長同伴で支援

合計三回、協力会役員と中

東部、淡路島に大きな被害

手によって届けられた。 五円が寄せられ、協力会の

ところで本校関係者の安

剰金は被災地への支援物資 本校関係者への義援金の余 などに避難中との事である 任も避難所または親戚の家 うちの三世帯の方々は、

そして協力会での活動

方々にお見舞い申し上げま

さて、このたびの阪神大

がってみた。まず、亡くな の様子を岩田副校長にうか

られた方はいらっしゃらな

どを中心に送り、先生方、

りだが、それについて、 寄せられたのは、前述の通

中高入試

金は全校から約八十万円が

生徒会で募っていた義援

り多く集まった。これから

高生徒会長は、「思ったよ

も続けるので、よろしく。」

えて、ガスボンベ・野菜な た。物資は現地の要望に答 にあて、主に西宮に送られ

七人が洛星を後にした。 **号われ、三十八期生二六** ネディクション (聖体降 卒業生の前途を祈念して 第三八回卒業式が二月七

当の光になるように」とは 阪神大震災にも触れ、「被 なむけの言葉を送った。又、 た使命を見つけ、社会の本 Fの教えを自分の人生の糧 炒りその中でラバディ校長 領式)が式に先立って行わ 「洛星で学び得たキリス た。次いで学校長式辞に 一人一人に与えられ 進をお祈りします。」と送 先輩方のさらなる発展と躍

五十年の節目を迎えた日本 して鈴木健太朗君が「戦後 プを後に残る者の今後の学 二十五名であった。 と述べ、一人一人と握手を は十六名、三ヶ年精勤は 勤は三十名、 の表彰が行われた。六ヶ年 皆勤は十六名、三ヶ年皆 しい行動力、リーダーシッ し卒業証書を手渡たされた。 その後皆勤賞・精勤賞 次いで高Ⅱの田中寿幸君 「三十八期生のすばら ていくことを誓います。」 新しい時代へ向けて社会の 星で学んだことを糧として、 員として大きくはばたい

受け新世界へ巣立って行った。 うとし」「校歌」が大講堂に 卒業生が歌う「仰げばと

きる人間になってほしい」 卒業生を激励 とした考えや価値感を持ち は新しく生まれ変る必要が 他者を受容する力を身につ あり、我々一人一人が確固 京都市北区小松原南町 印刷/(有)片桐軽印刷

社会の真の光であ

けていかねばならない。」と 式の形で「三十八期生は洛 卒業生の言葉を述べ、最後 右手を高くかかげ宣誓

年の十三号があります。 洛星新聞の一枚に一九五五 この号の第四面には、 手元に保存して

神父さん二人に私と一期か れています。顧問の先生、 史部の飛騨高山行が掲載さ 総勢十九

に現地第一夜を過ごしまし 車とバスを乗り継ぎ、今は

機会をみつけて参加しなけ

程の懐かしい思い出です。 沈んだ合学造りに匹敵する の生徒諸君の行動なども、 着いたのです。この道中で を合掌造りの御母衣部落に 援車に乗り換えて白川街道 を故障するまで。やっと救 次はバスでガタガタと山芝 り換え美濃太田へ、 在来線の夜行鈍行で立った ないのですが、京都駅から ディーゼル車で美濃白鳥 まま岐阜まで、高山線に乗 思い出は山程あります。 更に

言を語ります。

れば、洛星での思い出は

余年の思い出を大切にし、 出来ないと言っておきます。 感謝の意と共に更に学事 これからの私も、四十

行

長

V

間御苦労様でした

洛星新聞局

☎ (463) 3281 (代)

務の中村佐紀子先生が今年 度をもって退職される。御

長らく洛星で御活躍された理科の小川仁美先生と軍

一人の先生方から次のようなお言葉を寄稿して頂いた。

を心がけていきます。

を祈ります。本当に長い間 ありがとうございました。 今後の皆さんの、

お別れに あたって」 ごきげんよう!



た。と、書けば特に変わら

小川

ムな十字架の下で私も独り 卒業写真も二枚目になりま が、その校舎を背景にした 卒業おめでとうございま した。お別れに当り、 は少々スリムになりました 第三十八期生の皆様 新築以来屋上の十字架

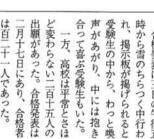
られていました。「この頃 司教区民の愛と祈りが向け かった頃はカトリック京都 の洛星は」と言われる度に 「どうもく」と家族の心 洛星が進学校だけではな

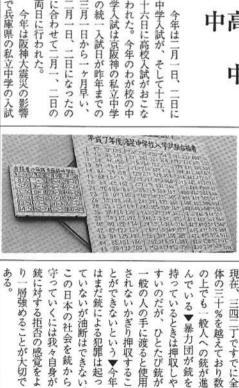
らしい青年に成長している えて卒業を迎えた時、 に、六年間又は三年間を終 席し、つまり淡々として生 ロザリオでも繰って下さ 徒心得をこなしていくうち い。淡々と衿のホックを留 しいものです。本を読むか 心の貧相さが見えて聞き苦 よりも、言っている人達の いでする。言われている人 と思う時もあります。 して悪口は言わない方がい に先生の名前を呼び捨てに 私の好きな聖書の一節を 通学の乗り物の中で声高 淡々と学校行事にも出 男



阪神地 期されたため

競争倍率は昨年の三一倍に うで、例年 れ、掲示板が掲げられると 時から雪のちらつく中行わ 少々こちらに流れてきたよ 対して、今年は三三倍であっ 五百七十八 合格発表は三日の午後五 よりやや多めの 人の出願があり 区の受験者も





般の人の手に渡ると使用

中学今年より 1日に

にあり、合格者 人であった。

だったのだが去年は十一月 持っているときは押収しや んでいる▼暴力団が銃を の上でも一般人への銃が進 体の三十%を越えており数 現在、三四二丁ですでに全 は四五丁で全体の四・七% 年では一般人からの押収量 なのだそうだ▼年々銃の押 カーなどの方が安全で便利 トランや駅のコインロッ 付けやすいファミリーレス 察もうるさくなく車の乗り 押収量が増えている。九十 収量も増えてきているのだ たが、むしろ昼間の方が警 近年特に一般人からの

らはいたく汝を愛せり』

いて我ら走れり。若き乙女 『汝のにおい油の香り慕贈りたいと思います。 雅歌1の3

良き青春をお祈りいたし

のだが、その銃が近年一般 らで一般人とは無関だった

団どうしの抗争がもっぱ 笠 件というと暴力 年以前の銃の事 よる犯罪が増え てきている。去 去年から銃に

年だった。細川首相への発 去年はなにかと火薬臭い 砲事件、住友銀行名古屋支 人の身近にせまっている▼

で答えていますが残念だな

中村佐紀子

銃取引きの場だと思ってい 歌舞伎町など夜の繁華街が るようになったのだ▼新宿 団も銃を売らなかったが、 取る方法がある。昔は暴力 早い方法に暴力団から買い 銃を入手するのにてっとり ることのなかった一般人が だった▼本来銃に手をふれ 他人を射殺するという事件 を入手し、うらみのために た。この事件は一般人が銃 の駅で医師が横浜の元会社 二五日の東京、朝の通勤時 罪が起きたが、中でも十月 バブルがはじけ金に困り売 員に射殺される事件が起き 続発砲事件など多くの銃犯 店長殺害事件、福岡での連 堀井先生、

これから頑張り

(2)

野球部の斉藤と言え

第150号

ヤ北川 浩司 村 拓

谷 瀧

どほどに ゲーセンと

目が光る。池

つまりプロになれってこと

崇

硬式テニス部万歳

人のあなたで

ウェルカム NEW ワー

西村繁幸

中野大輔

人の悪口 言うな聞くな。

中庭智宏

まあ風の吹くままやりま

しょう。

岳

ミミズになりたい。

中庭智宏、翔きます。

苦悩と恐怖の三年間だった。

自分を信じてみる

立身出世はもう古い!

慎

岩田 茂郎 田 祐規

千里

9月3日生まれ

ガンジスの流れが私をよんある。 佐藤 卓 東気の最上の部分は分別に 大 田 亨 次

いつか、

だった。

何知らず流れは加速度をつ

明日は限りない青空が広田中鳴滝 鴬の春にあうが如う 人に隠れて悪を斬る!

足立大 振りの竜月

足

とう寺井 二億秒の間、 太

Give the Best of Yourselves

安

茂地球よ

ゲータン・ラバディ ら」
町原
「いや大変酔った、 救われたら 具の自分を見つけることで もうすぐ刑期も終わるはず 二年間ありがとうござい

齊

なのだ!!

エリア88は6

上には上が

金村

久 保

僕は、

また会あうー日までえー♪ ておけば伸びが 松井雅樹 カにするな! 利



前中

黒の鳥が?私の6年を締め 村上先生はバスガイド好き すべてはうまくいくはず 三百年は生きられますよう 来年こそ見 だった!!。 岩本 江上政弘 福田佑介 秋山伸一 岩岸宏次 エール》宏次』 てろ!!今年は知 いわ。なんでも

めてる私

造反有理

古 児

洛星で得たものは数えきれ みんなでRUGBY部に入 梶川佳照 いることを知っ 受験は今年で終わりにした 大阪でまた地震おこらんよ 最後まで読んでくれてあり 素直が一番! 渡辺康弘

上野俊之 戸谷 塚本純也

短い六年間だった。 ± チンパンジイ怪人パンチ みんな がんばれよ 不変!不屈 谷竹口居

まだ高校生。

平和な3年間がすごせた。

興 野 康 也

心明鏡止水、体爆熱神指。

·木朽!木休!

神農、松浦、俺より先輩に

ありんこ大槻和裕

田明希

めざせ予備校一年生!

いろんな人に出会へけるぞ

紀

クオリティ 未来はいつも僕らの味方!! あきらけく 吉仲正記 山田賀永 上田崇清 ・オブ・ライフ

思いたい 小 笹 泰 寛

また逢えたらいいね。

千丸貴史

過去の自分を常に誇らしく 弱肉強食 佐々木 卓太郎

りがとう。 山本繁史先生、ありがとう

男は優しくなくては生きて 庄 司 拓 平 仙元下妻両先生、本当にあ 弘

いけない。 来年の今頃は遊んでいます 鈴 木 健太郎

なる日。 戸 谷 剛 なる日。 戸 谷 剛

第 150 号

学んで欲しいと願っていま 関わりながら、たんたんと 次のステップで蓄えられる 時代を創り出すための力を 豊かな可能性を求められる 自由な精神的な空間の中で 反省の多いことでした。 化してしまうことが多く、 は、固有なその力を認める 具わっていることに気付き 会い、その人達にそれぞれ らも、どこかで "ほつ" と りの季節を迎え緊張しなが よう好きなことに積極的に 刻がやって来ます。新しい 学校教育の未熟さを痛感し ことより一つの傾向に平均 豊かな才能や特有な能力が いつも嬉しく思っていまし していることでしょう。 私は沢山の生徒諸君に出 あなた方にとってのひと これから青年期に入り、 しかし学校教育の中で

六年又は三年間の洛星での 薬御目出度うございます。 三十八期生の皆さん、卒

守り、これを体得する事で 過程から師の教えを忠実に で下さい。私は剣道修行の 将来を見据えた勉学に励ん 生活を終えて、それぞれが 学びました。守とは初歩の 中で「守破離」と言う事を れず、大学ではしっかりと 育をほどこすところです。 人学することのみにとらわ 大学に進学されるわけです 大学は、より高度な教

心から御祝いしたいと思い つの節目になる御卆業を、

増田浩堂先生

破とは守の段階を基礎 時代によって異なった強

3.月16日

豊かな人生を送って下さ

平成7年(1995)

言います。離とは破の段階 守の段階を抜け出た状態を 工夫、研究鍛錬を重ねて、 での六年間の生活の締め括 新しい春に期待し、洛星 白松茂郎先生 が一段と進み、心技共に自

の感慨をこめて…… されますが、あらためて私 でとう。別離にはよく引用 三十八期生、御卒業おめ

勧、君金屈后

自らの将来をきり拓いて下 の一つのことを考えながら、 開かれているはずです。次 だこの酒をどうか辞退なさ るな。花咲けば風雨も多く 金の杯を。なみなみとつい 人生に別離は多いもの。) (詩意ー君に勧めよう。 風雨もあるかもしれない 君たちの前途は明るく

すが、そこからは急に新し まもなく世紀が変わりま

況にあるのかを考えて下さ 生きている時代はどんな状 始まるはずです。今自分が 解決の問題を引摺ったまま はなく、今世紀の大きな未 い時代の到来があるわけで

もこのことと深くかかわっ うことも考えて下さい。芸 変らぬ人間性とは何かとい 考えたり、信じたりするの 術、哲学ひいては宗教につ 調のされ方はするものの、 我々が味わったり、 るような事が多い。

ではなく、 神は単に剣道上の事ばかり きの努力を忘れないで下さ だと思いますので常に前向 由無碍の境地に達し、道と 上からも非常に大切なこと ものです。この守破離の精 して一家をなす状態を言う 人生の生き方の

久保弘雄先生

人生足,別離 満酌不、須、辞

方が薄れているような気が 周囲に気を配るような考え りまわされて生活しなけれ 化が進み、偏差値などの 缶やたばこのポイ捨てなど 音をまきちらすバイク、空 ばならない現代においては、 データーや情報の洪水に振 騒

は気が休まった。誰からか 震災後の被災地で多くの若 こうしたなかで、阪神大

山岡

ひろがったいま、どこまで 能力。知識が増え、経験が が大きくふくらんでいると なっているのでしょう。 ら遠く離れたことを思える いいですね。夢とは自分か 遠くのことが思えるように いま中学卒業の時より夢

る」またあの歌が歌えるこ いまもおなじ夢に見てい

近は「横並び」志向? まるでわが成果のように喜 んでいます。それとも、 ました。そしてかなりおも 表現してほしいと願ってき とり他人とはちがう自分を しろい青年たちに育ったと、 三十八期生にはひとりひ 最

う。卒業おめでとう。期待 にひろがっていくこと。そ から遠くへ遠くへと放射状 れが卒業ということでしょ 夢を持つこと。それは洛星 ひとりひとりがちがった

会があったら知らせてくだ なにか自己表現をする機

さい。出かけて行きます。

日常生活でイライラがつの

指図されたのではなく、

聰先生

分の意思で救援活動に動き

まわっている。何かしたい

「こどもの時夢見たこと 遠いところへ」

卒業おめでとう。

事を期待しています。君た 互いたいせつにしましょう。 ニーの流れの中でつかんだ とよく聞く言葉の似合わな いろいろな人に出会い、 らつかんだ貴重なもの、お 貴重なもの、私が君たちか なく、次のジャンプをする 全ではありません。けっし た。君たちは今しか出来な てひたむきな心を忘れる事 い学年でした。しかし、完 きで、『今の若者は……。』 い事、してほしい事に前向 くさんの人々に支えられ、 ちが洛星での生活のハーモ

そんな中で生まれる美しい

けでおわってしまう人が多 を社会活動を充足するもう する時が来る。自分の満足 行動すると、いつかは挫折 害・損得の計算ずくのみで な方法で参加している。利 と思っても結局は気持ちだ いう事は知ってほしい。 い中で、積極的にこのよう つの生き方もあるのだと

遠藤政樹先生

千葉多喜夫先生

機械化、コンピューター 切にして頑張って下さい。 心のハーモニー。それを大 藤原義久先生

降り始めた時、見事な判断 れます。あの体育祭で雨が 様々な中学から集まった個 力と団結力を発揮して 祭などの行事が思い起こさ 道研修旅行や文化祭・体育 ます。また高二では、北海 もらったことを記憶してい 性豊かな生徒諸君の担任と 卒業おめでとう。高一では、 して、新鮮な刺激を与えて 三十八期生の皆さん、ご 卒業生へのはなむけ旧担任先生方から ルで覆い、必死の思いで守 り抜いた姿には感動させら

す。二十一世紀を担う皆さ ちのエネルギーを思う存分 持ってほしい。あの体育祭 話し、耳を傾ける許容力を います。頑張って下さい。 んのご活躍を心から祈って を追求してほしいと思いま に発揮して、自分の可能性 や様々な場面で見せた君た い。また、いろいろな人と にしっかり学問をして下さ いく諸君に対して、まず第 に、大学では時間を大切

純先生

モニーに感動させられまし でしか生まれない心のハー 流れた最後の歌声。その場 私のピアノと共に学校に かった)、社会では認めら かがはっきりしていて、 卒業をおめでとう。卒業式 私が担当した理科の一教科 をあげ易かったと思います。 またある人にとっては成果 の時点ではいろいろなこと ます。「それは俺だ」と思っ 彼らの将来が楽しみであり 人たちがいて、たのもしく れること間違いなしという なかったけれど(成績が悪 の範囲では評価のしようが たけれど、何をすればよい 択できる範囲は限られてい を実感していることでしょ うが、何か一つ越えたこと を考える余裕はないでしょ 目分が決める。 ておくこと。自分の価値は によっては過ごしにくく、 三十八期生のみなさんの 高校生活では自分で選

期生に会えることを楽しみ 何年か後に元気な三十八

青木五郎先生

りがとう」という言葉はと 気持ちを持って下さい。「あ ます。一つは、常に感謝の たり、二つのお願いがあり 下さい。君たちの卒業にあ 生をすばらしいものとして として、これからの長い人 たが、楽しく担任ができま 年間だけのおつきあいでし おめでとう。君たちとは二 した。洛星で学んだ事を糧 三八期のみなさん、卒業

これから大学に進学して う一つは、「今、何をすべ その一瞬一瞬を大切にして ても美しいと思います。も 下さい。 きか。」という事を考え、

寺田俊郎先生

勉強しろよ! 風邪ひくなよ!

卒業おめでとう。

とう。 年間だった。どうもありが 生の諸君と過してきた。楽 ほとんどの時間を三十八期 年の英語を担当して以来、 しくまた学ぶことの多い三 三年前洛星に来て高校

だということ、その実現の てはいても、一人ひとりが 性を秘めていると思う。 の冒険を続けていけるよう きって、しかし謙虚に、各々 を忘れてはいけない。思い に必要だということ、それ 自分の可能性を実現する途 う。しかし、たとえ異なっ れぞれ異なっていることだ の中身も、実現の方法もそ ためには相互の協力が絶対 上にあるという点では同じ める冒険の軌跡には、二つ ろう。自分の可能性を見極 に祈っている。 と同じものはないことだろ 人ひとりが豊かな可能

寺井治夫先生

私には三十八期生の原風景 合って、走りまわりました。 だまし方をお互いに教え 中一のクラスで催したジュ 格好の場所でした。もちろ 物陰があちこちにあって、 す。その頃はまだ修道院の ンドロ (ドロジュン?) で **晏に何本もの樹木が立ち、** ん私も仲間です。逃げ方や 六年間で一番の思い出は

ウスでの発表会にまで到達 として成長しました。 を発揮しました。私も教師 でき、たくさんの生徒が力 な思い出です。エンゼルハ 高一では、高校から洛星 中三での卒業制作も貴重

るでしょう。しかし、

くふれようと努めました。

同時に、全ての諸君とあ

のですが、

人が生まれて初

高校三年生は日本中を探し

に入った諸君と少しでも多

いい。遊びでも、

目頭を押え、最後の小節を 活躍していました。年が明 でした。文化祭、体育祭で 期の高Ⅲを担当している時 を向けたのは二年前の三六 ぞれの思いを持って巣立っ 精一杯、歌い終りました。 ば。」幾人もの子供達は、 け彼等が高一になった時、 それぞれの子供達は、それ 「今こそ別れめ、いざさら 私がこの学年にふと注意 スは不通の状態で自炊ので 三月五日教職員ら三一名に 灘区の本山第三小学校で、 なく、一階が押しつぶされ を見ました。しかしよく見 そうです。 最も大きかった所の一つ ると、看板が落ちたのでは 屋の入口をふさいでいるの きな看板が地面に立って平 きない方は八〇〇名以上だ います。水道は出ますがガ 人の方が避難生活をされて 行なわれました。 このあたりは地震の被害が よるシチューの炊き出しが 途中ラーメン屋さんの大 小学校には今も四〇〇

> 方も好評でした。 す。とてもおいしいと味の

ることができたと思いま

た方やボランティアの方と ちと一緒に来て、被災され

の交流が出来ればと思いま

の一心で、 召しあがっ

全員力を合わせ

た。出来れば次回は生徒た 堂々と対応してくれまし

てもらいたいと

片付けの途中二時の合図で

合同慰霊祭の日でした。後

最後になりましたが、準

この日はちょうど神戸市

を捧げることができました。 神戸の方々とともに黙とう

> なった保護者の皆様、協力 備から当日までお世話に

今回の炊き出しの中で私

を大切に育てていくことが、 実に多くのことをひとから を歩んでいくことを期待し に微笑みを与えられる人生 は思います。君達が、ひと 考え方、経験を通して自分 く。そしてそれらの知識、 学び、吸収し、成長してゆ がそれをスタートにして、 りと微笑むことです。誰も めておぼえることはにっこ 人として生きることだと私 が「美しい」と感じるもの

表します。

今まで、

何でも。私は最近気づいた なことをとりいれてゆけば は若いのだから、立ち止ま 持てなかったりする人もい 先が見えず不安であったり、 胸に己の道を一歩踏み出そ 月を思い出として、希望を 今君達は洛星で過ごした年 業おめでとうございます。 る前にできるだけいろいろ まだ自分の進む道に確信が うとしています。とはいえ、 三十八期生の皆さん、 山本繁史先生 勉強でも、 どと思っていた小生には目 コンクールで見せてくれた エネルギーを注いでくれた にあれだけの膨大な時間と からウロコが落ちる思いで ことでした。とりわけ合唱 した。またアルバムの編集 生だから「まあ程々に」な 姿勢には受験を控えた三年 あの活力、意欲、取り組み ることが出来たのは楽しい 人なつっこさ、活力に接す 若者らしい率直さ、明るさ んな意味で変化し複雑な思 が出来ました。洛星もいろ で初めて諸君と会えること いもありましたが、諸君の 何かのご縁で最後の学年 そのせいで私にはクラスの 三年間を過ごしてきました。 える間柄になりたいと願い らためて一人ひとり語り合

雪まじりの寒い夜が明

わかりました。同じ状態の

て二階だけが残ったのだと

家屋がいっぱいありました。

炊き出し開始三〇分前に

食事担当の方はやっと高校

した。代表の方は大学生、

を卒業した所の人でした。

本校教職員ら31名 震災援助続く

本山第三小学校(東灘区)で炊き出し

阿南先生のリポート

ランティアを継続している

人達の若さとたくましさで

みんな、元気で! たまりません。 君と別れるのは、寂しくて 一度に二百七十人もの諸

は長い列ができました。ス

ト後は目の回わるよう

な忙しさで

したが、少しで

もはやく暖かなシチューを

対し、わかりやすく、実に

が、こちらの質問や要望に 高校生も何人もいました

熊谷春雄先生

最後の年に担任となりまし 気心が知れるようになり、 教科担当となり、少しずつ て行ったことでしょう。

伸びくと。ヤバイことに の積み重ね。彼等子供達が う事はよく聞いてくれまし 等は伸びくくとやりすぎた 下げて廻るから……。」彼 なれば、私が各方面に頭を 大きく成長することを願っ いていた言葉、百歩は一歩 た。クラスの黒板などに書 かも知れませんが、私の言 「一日々々を大切にして、

藤田行男先生

いろんなチャンネルを持つた

ものにしてほしいと思います。

一見ムダに見えるチャンネル

のような良質なものを引き ても余りいないでしょう。 諸君と、 諸君の中からこ

が驚いたのは、小学校でボ

妻に心から感謝いたします。 に久保さん、富田さんご夫 会役員、委員の方、また特

出して下った高二まで担当 つしかないようなものです。 侘しいものです。是非とも 人生これだけでは余りにも された先生方に深く敬意を ればテレビのチャンネルが一 たのですが、これはいってみ ただひたすら大学へ向けて 、勉強。 なるものをしてき 小学校の頃から 科教室の建設に協力したも の調理実習に取り組んだ。 生が、洛星時代最初で最後 授業などで使う機会は一度 のの、一昨年の完成以来、 高三生らにとっては、保護 企画されたものである。 クラス一時間の調理実習が 前に一度は家庭科室を使っ もなかった。そこで、卒業 者が寄付に応じるなど家庭 てもらおうということで各 卒業を間近に控えた高三

で飴やジャムを包み、オー らは、山地先生の指導でパ 紅茶を片手に焼きたてのパ ブンに入れて待つこと十分。 イ作りに挑戦。冷凍パイ皮 家庭科室に入った高三生

あん たが大賞

語り合いましょう。 た。いつの日かお出会いして 残念ながら紙面が尽きまし が実は非常に大切なのです。

イを早速試食していた。

中学陸上部 百米 十 京都府私学総合体育大会 中三口 ・〇九秒 位

ろしくお願 今後ともあんたが大賞をよ る方は、 あんたが大賞に投稿され い致します。 堂上の新聞局局 位

> 4記録 ②クラスと番号 ③出場した大会 箱」までお願いします。 室前の「あんたが大賞投稿 なお用紙には

⑤順位 の五項目を必ず記入して下

二百米

十一・〇三秒

Who's This?

■常廣一成 私がセンター試験を受け

ШВ

田中宏樹

漿諸君へのささやかな忠告 ディションである。 生としてのサイテーのコン 場の雰囲気にのまれついで である。…情けない。受験 クを引きずってしまったの に出来の悪い教科のショッ 安部公房氏に似て精神が弱 した。…元々、私は文豪・ たてて崩れ去った様な気が 教科悪くとも次で取り返 これを読んでおられる後 当日、私は思かにも会 という不屈の開き直り と割り切 "自分の "心の迷

を持って欲しい。精神の持 実力も大切だが、 幾つかの選択をもって解答 である。自分の答えでなく 験は頭脳のみの機械と違い 裕が持てるようになる。試 る不動の精神と、"たとえ 選ぶ答えが正答。 考えと食い違い、 するのである。故に自分の センター試験はマーク方式 ち方次第で時間配分にも余 い"が多々生じ易くなる。

た時、何かが私の中で音を だけでななく、解答を入手 の模試を年間通して受けて 受ける皆さんに理科・社会 ください。そして、受ける を挙げておきましょう。 の勉強法についてひとつ例 したらすぐ、全ての選択肢 ズバリ、ひとつの予備校 これからセンター試験を

科目が一緒になっています のは、例えば河合塾なら年 さい。予備校の模試という から、自分のいる分だけを 社会の問題冊子は一般に全 でしょう。それから、理科・ 最良のテキストになること は必ずや、あなたにとって うした検討を経た問題冊子 だいたい全範囲をカバーで などと詳しく検討してくだ うすれば正しくなるのか、 がおかしいのか、そしてど らその内容を暗記し、間違 についてチェックを行って きるようになっており、 いの選択肢についてはどこ ください。正しい選択肢な 4回の全統マーク模試で、 だが最後まであきらめない 家族の励ましにも勇気づけ られ満足のいく結果を得る

う事を憶えておいて欲しい なくて便利でしょう。

を楽しんだ。友人や先生、 の答としたい。僕は自分の が、僕は物事を肯定的に受 うか。勉強して実力をつけ るにはどうしたら良いだろ の差こそあれ試験を前にし それは素晴らしいことだ。 のいくまで勉強できたと自 実力を試すつもりでテスト け取めようとする姿勢をそ ることはもちろん必要だ と思う。その不安を克服す りだった。誰だって、程度 遅れたいた。不安要素ばか そうでなくても僕は勉強が の方が本試よりも難しい。 ることにしたのだが、追試 なかった。追試験を受験す エンザで本試験を受験でき かったら? 僕はインフル 信をもってのぞめるのなら て不安のない者などいない しかしもしそれができな 試験に体調は万全で満足

ような気分でいましたが、 今は落ち着いて旅をふり返 かりの頃には夢を見ていた

心を備えた人が受けるとい

切り離して使うとかさばら

ことが一番大切だと感じた。

第13回

ましょう。

これは難問でしょう。この方の着ておられる服に注目し

僕が体験させてもらったこ う時に行けたことが良かっ でも分かちあえたらと思い とを今度はみなさんと少し 前には勉強のことも気には な時間だからこそ大切に使 なりましたが、むしろ貴重 たのかもしれません。出発 えたのだと思います。 考えてみると、高Ⅲとい そしてオーストラリアで いた人から外人とはしゃべつ についてもアメリカに何年も

田先生の手もお借りして締 セイコンテストに応募しま 切ぎりぎりで朝日英文エッ ている方も、機会があれば した。(これを読んで下さっ 昨年の一月末、僕は寺

II D 南本 天

語の問題を見た途端、その

午前十時。一教科目の英

それなりに勉強すれば、セ ちょっとレベルが高くても、 ていたが、僕がそんなこと そこの点が取れると思う。 ンターならば、何とかそこ ンしたにちがいない。 をしていたら、途中でダウ のに受験番号が心配になる 回以上確認しているという とができた。ただ、なぜ五 ほど洛星の生徒がいるのだ だった。この会場は、七百 実際僕がそうなのだから。 は、早くから猛烈に勉強し い。医学部志望のあるやつ れほど勉強したとは思わな のだろうか。不思議である。 の模試のつもりで受けるこ ある。だから僕は、いつも から、当然といえば当然で 行ったとき、まわりにいる 人ほどのうちに二百七十人 のは洛星のやつがほとんど 今までに、自分自信、そ 僕がセンターを受けに は…」と思いつつ英語終了 ぎていく。「こんなはずで 官がこっちを見てニヤニヤ げると、目の前にいる試験 高校生活最後のビッグイベ 月一四・一五日の2日間、 の声と闘いながら問題を解 てしまえ」という心の悪魔 せざるを得ない。「失敗し のこの雰囲気の中では緊張 りといっても、やはり本番 んと最前列のど真ん中。 京大医学部生理学講堂のな 新傾向に動揺する。顔を上 くが、時間が異様に早く過 くら回りが洛星の生徒ばか している。私の席は、この こういう調子で、先の1

れるようになりました。 夏、日本へ帰ってきたば

この文を書こうと思います

るようになりました。

てくる人も様々です。英語

発勝負ですから、選ばれ

審査がほとんどエッセイの

ポールを経てパースへ。そ 阪で集合、翌日空路シンガ

世の人もいました。 まりがありました。みんな た時から何か不思議なまと たことがない人までいました く見ず知らずなのに、会っ 集まった10人、お互い全 中には在日朝鮮人の2

> 目が会ってもそらしてお 知らない金髪のおばさんと とこれ がなかなか来ない

気にせず生活しています。

また日本語の先生からゲ

かにみんなが皮膚の色など 別も少ないそうですが、確 いるようです。この国は差

を話すきっかけにもなりま

晴らしい、

そう思います。

色々ありましたが、10日

容赦なく別れの

ました。 [冬の精霊]

がわかった方がはるかに素

体を使ってコミュニ

のはもちろんですが、英語

肩をたたかれふり返る

れるはずの David (ホー

28日、僕を迎えに来てく

実際はものすごい数のアジ 国と思っていたのですが、 ラリアと言えば白豪主義の

アからの人々を受け入れて

ムブラザー)を待っている

になりました。

ざん酔って長い長い三時間 たのですが、実際にはさん の間中楽しかったらよかっ

生徒の多さです。オースト

まず驚いたのはアジア系の ついて いったのですが 同じです。僕も David

也(翌月)

社会科のパワフル教師、中村岳人先生でした。

前回の答え

部最大の町パースの近くに ただき、オーストラリア西 なことに優秀賞に選んでい と思います。) 本当に幸運 約10日間ホームステイでき

生に一度(であってほしい) 試験を受けて来た。結果は ともかく、第一志望の場所 ントともいうべきセンター のいい思い出にもなった。 向けても大きかったし、 で受けられたのは、二次に いうことがとても大事な事 いく事がいかに大変かとい なのだとふと思いました。 て最後まであきらめないと もリラックスして自信をもつ やっぱり学校へ行って少しで う事でした。試験前でも 分を一番良い状態に持って

の旅は始まったのでした。 持っていてそれを互いに認 め合う。そんな所から僕達 一人一人がおもしろさを

僕のオーストラリア紀行

と破滅することもあるので と思う。ただ、遊びすぎる れなりに遊ぶことも大事だ 受験生だといっても、 の後輩の皆さんへ、今のうち 大学入試なんてまだまだ先 に思いつきり遊びましょう。

だからヤメ。 たいけど悪い影響が出そう は本当でした。詳しく書き "歴史は追い込みが効く"

張しました。なんといって クスしてやれました。 はまあまあ調子よくリラッ 帰ったらパニックで自殺し 間違って言ってあったので てぐっすり寝たので二日目 時頃まで世界史の資料を見 の日は開き直って夜中の三 たと思われていました。そ が、前日親に三時頃帰ると 駄目かと本気で思って失意 2でつまづいた時は国立は のうちに家に帰ったのです も満点を狙っていた数Ⅰの ところで本番は死ぬ程緊 高ともハイレベルな試合を

Don·Jenny 夫妻、

David、次男のおとぼけ者 のGlenの一家五人でした。 もに過ごしたのでした。 Cleig、そしてわんぱく坊頭 年で受験勉強に忙しい は、新聞配達をしている 家族の一員として彼らとと 子供の生活の中心が学校 それからの10日間、僕は 僕と同じ

アの人は日本人よりシビア 関する限り、オーストラリ に新聞配達のアルバイト をしましたし、また真夜中 り・皿洗いなど色々手伝い らは少しゆとりがありま にも行きました。しつけに 縁のない僕も掃除や薪割 す。それで日頃手伝いには す。その分、家に帰ってか (お金ももらえました。) 手伝いをすると喜ばれる 通する部分があり、そして 校、習惯、 歩み寄ることができること 感じるのは、

なのでしょうか?さらば、 る者の叫び声

なってしまった。これが、 と叫ぶ者の声も聞けなく 最後の編集後記になるのか。 一致団結して頑張りましょ 「奈良線を便利にせよ」 [春の妖精]

今までどうも有難うござい 回数を増やそう。北川先輩 に仕事をして、新聞の出る 来年度は、もっと真面目

中高サッ る

学、 ためM2Cが不戦勝という ルエンザにかかり欠席した のメンバーの大半がインフ とM2Cとの対戦はM1C かった。その影響かM1C の中、雪の降る試合も多 会が行われた。連日の寒さ こともおこった。しかし中 高校の順にサッカー大

た。そのほか高校で3位が

り、中学で3位がM3D、 HIE、4位がHIAとな

4位がM3Bという結果と

位決定戦)

(三位決定戦)

E

I

3 D

HIB

M 3 D

1 A

D

II D II B I I F

なっている。

tHIF-HIB&2-1

決勝戦M3A-M2Cを1 繰り広げその結果、中学は

(高校)

II E Ľ II C

2 B

c C

2 C

〈中学〉

 $_{\mathrm{D}}^{2}$

1 B

ΙĒ

- 1.5でM 2Cが、高校で

でHⅡFが優勝をものにし

名前) ? -とさっきのおばさんが、 - Are you Oki (僕の

を話してもらえないかと頼

ストとして授業で日本の事

も大切だと思います。

時がやってきたのでした。

でも、家族みんながそれぞ

スポーツでも同じことで

英語の難しさを痛切に感じ 化を伝える難しさ、そして まれたのですが、自分の文

楽しいだけでなく相手との

理解を深めてくれるという

別れ際の言葉を思い出しま

今、僕達の引率者の方の

終わりますが、大勢の方が した。「君達の研修は今日

未来に向けてすぐ明日から

動きだすのです。」多勢の

スポーツをしていましたが、 す。僕はほとんど毎日何か

空港に来てくれたのです。

れ仕事や学校を休んでまで

ました。 を置いていくよう になり わったのか、逆に時間が僕 ここで頭が英語に切りか は David の母親でした。 での一瞬が本当に長かった ことを覚えています。彼女 このひとことに答えるま

日本のようにクラブで学校

ました。

今一番お

もしろかったと

ことを見つけることができ

オーストラリアの学生は

に残ることは少ないようで

試験が終わって思った事

テストの内容よりも自

僕を迎え入れてくれたの

違いに驚いたことよりも共 の考え方まで話しが及んだ をもっており、仕事、学 もあってみんな日本に興味 こともありました。互いの が日本語を習っていたこと ラリアのことをみんなで話 食べながら日本とオースト しあったことです。 Glen 貿易、時には死 やはり夕食を

> ければうれしく思います。 編集後記

結晶だということが少しで 方々の好意一この旅がその

もみなさんに感じていただ

新聞局。〔関西弁を批判す ない私って、いったい何者 年末から地震にしか会わ

でしょう。それまではみな 新聞局にも春がやってくる 寒い冬の終わりと同時に

だろうか…。 何とか新聞を出すことがで きた。これが最後になるの もう終わりと思っていたが [ランベルール皇帝万歳] いや、それにしても局は [夢見る陽]